

甘藷の育苗法比較試験

井浦 徳*・白坂 進*

IURA, M. & SHIRASAKA, S. A Comparative Test of the Nurseries of Sweet Potato

近時ビニールの農業方面への利用が盛んになり、甘藷の育苗にもこれが利用は当然考えられることであるので、在来の各種育苗法と比較して見た。

試験方法の概要 供試材料は農林2号で試験区は、1) 温床無被覆区、2) 温床ビニール被覆区、3) 温床催芽露地移植1寸区(萌芽1寸に伸びた時露地に移す、以下これに準ず)、4) 同3寸区、5) 同5寸区、6) 同3寸鉢土区(稲藁製鉢に催芽させ移植傷みを減少す)、7) 露地床区、8) 露地床ビニール被覆区。種藪は大きさ約60匁のもので3月22日7寸間隔に伏込んだ。1区20個(0.5坪)2区制である。温床は坪

当稲藁15貫、落葉5貫、厩肥5貫を踏込み、露地床は稲藁5貫、厩肥5貫を敷込み、床上は何れも5寸とし坪当菜種油粕及び確安を100づつ施した。催芽露地移植は4月中旬から下旬にかけて順次行い、ビニールの取除きは温床では4月17日、露地床では同28日であつた。

床温は4月以後は殆ど同じになつたが、それまでは2) (32°~20°C)、8) (26°~20°C)、1) (24°~20°C)、7) (18°~20°C)の順で気温(地上10cm)は8)、2)、1)、7)の順であつた。

試験成績

区 別		温 床		温 床 催 芽 露 地 移 植				露 地 床	
		無 被 覆	被 覆	1 寸	3 寸	5 寸	3寸鉢土	無 被 覆	ビニール
平均萌芽日数		19	16	18	18	19	18	27	18
30 日 目	平均苗長	cm 6.7	24.0	5.9	5.9	5.9	5.0	0.8	14.4
	平均節数	3.5	9.2	3.3	3.3	3.3	2.7	0	7.1
	1個当萌芽数	12.0	18.6	7.7	7.7	7.7	5.0	0	11.8
採 苗 数	5月中旬	0.8	9.3	—	—	—	—	—	5.8
	// 下旬	6.3	2.9	2.9	1.7	1.8	2.2	0.4	4.0
	6月上旬	4.2	2.7	4.6	5.1	5.7	5.0	3.5	3.0
	// 中旬	2.1	2.0	1.7	1.7	2.7	3.0	2.0	3.8
	// 下旬	4.3	5.1	2.2	3.2	3.9	2.5	2.3	4.3
	合 計	17.7	22.0	11.4	11.7	14.1	12.7	8.2	20.9

考察 成績によると萌芽の遅速伸長、採苗始め、採苗数などは温床ビニール被覆区が最もよく、露地床が最も不良であることは当然であるが、露地ビニール区が現在普通に行われる温床無被覆育苗に比較して、萌芽始めや萌芽数は殆ど変わらないが、苗の伸長はこれよりずっと速い。それで採苗開始もこれより早く一定期間の採苗数も2)に次いで第2位である。苗床環境としての気温は8)が1)より高く、床温も苗床設置当

初最低温度がやや高いだけで案外上つていない。温床も被覆しないなら露地ビニール区に劣る。但しビニール育苗は天候に支配され、曇天が多ければそれ程の効果はないであろう。温床催芽露地移植法は純然たる露地育苗よりまさつていて、温床節約のためにはよい方法である。移植の時期の比較では各区間に差異は認められなかつた。移植傷みを防ぐため藁鉢に伏込んだものは根張りがよくなかつたためか成績はよくなかつた。

*九州農業試験場